平成29年度 第2回 議会報告会 の意見・提言・要望等

分野	内容・テーマ	報告会場	意見・提言・要望等	町からの回答
1 教育・子育て	中学校給食	国府支所 保健センター	<p>デリバリー給食が休止となり、各自弁当持参となっているが、弁当を作る家庭ばかりではなく、各家庭の費用負担は増えている。</p> <p>異物混入の件で、町の対応が生ぬるいのではないか。問題をなぜ、ここまで放置したのか。一つ一つの対応が遅く、誠意が感じられない。</p> <p>育ちざかりの中学生は将来の大磯町を背負って立つ人間であるから、予算を多少なりとも余分に使っても反対する人はいない。美味しく喜んで食べることができる給食を考えていただきたい。</p> <p>今回の件をしっかりと検証し、今後の対応、検証の仕組みづくりに生かしてほしい。</p>	<p>デリバリー方式による中学校給食については、生徒の食育という観点とともに、家庭の負担を軽減するという点も考慮した中で開始しました。</p> <p>残念ながら、残食率や異物混入などの問題があり、平成29年10月16日より休止となりました。当面の昼食については、学校と連携を図りながら、各学校の実情に合わせた対応ができるように協議してきたいと考えています。</p> <p>異物混入に関しましては、工場内での混入が明らかになったものについては事業者に対し厳重注意を行い、再発防止の指導をしておりますが、報告の多くが混入経路の特定が難しいものであったため、対応に時間を要してしまいました。結果として生徒たちに不安を与えてしまい、大変申し訳なく思っています。</p> <p>今後は、平成30年度に調査業務を行い、懇話会等の意見を踏まえ、給食提供方式を検討し、給食の実施再開に向け取り組んでまいります。</p>
2 危機管理	防災対策	国府支所	<p>災害時の避難場所である国府小学校のマンホールトイレを使いやすくしてほしい。</p> <p>また、ソーラー発電や蓄電設備に問題はないか。</p> <p>町から各地区に防災の費用が出ているが、3万円では足りない。地区によって金額に差があるのか。もっと防災に予算をかけるべきではないか。</p>	<p>マンホールトイレは、災害時における簡易的な設備であるため、し尿を排水する機能がありません。このため、毎回又は一定間隔で置き水等による排水が必要であり、使いにくいという意見も届いています。国府小学校においては、この排水にプールからの排水の利用を検討していましたが、十分な水压ではないため、置き水により処理することが確実です。使用方法の改善について研究してまいります。当面は現状の使用法での対応をお願いいたします。</p> <p>ソーラー発電設備や蓄電設備については、設置から20年以上経っているものもあり、経年劣化による故障もみられるため、順次改修しています。</p> <p>自主防災組織の支援については、一律で交付する運営費補助（1団体33,500円/年）や、結成時に世帯数に応じて交付する防災資機材購入補助を実施しています。また、コミュニティ助成等の補助金を活用し、地域防災活動のさらなる充実に努めてまいります。</p>
3 建設・都市計画	県道整備	国府支所	<p>県道相模原大磯線の生沢西乃池交差点に、伊勢原方面からの右折レーンがなく、非常に曲がりにくい。右折レーンが設置されるということだったが。</p>	<p>神奈川県では、現在、右折レーンの整備に必要な用地買収について、地権者と交渉を行っており、平成31年度の工事完成を目指して事業が実施されています。</p>
4 生活環境	ごみの分別	国府支所	<p>新しく引っ越して来た人に、ごみの分別方法をしっかり説明し、指導してほしい。</p> <p>ごみ集積場所に注意書きの看板を設置したり、アパートの入居者には、大家さんにも協力してもらってほしい。</p>	<p>転入手続きの際に町民課の窓口で「ごみの分け方・出し方」の冊子等を配布し、分別方法等の周知を図っています。また、広報及びホームページには定期的に関連記事を掲載し、正しいごみの分別方法と呼び掛けています。さらに「おいそ廃棄物減量化等推進員」と協力して集積場所での分別啓発を行っています。</p> <p>集積場所への注意喚起の看板については、集積場所利用者からの要望に応じて看板の設置などを行っています。また、集合住宅については、地域の方に協力いただき、転入手続きを経ないで入居された方にも案内が行き届くよう、周知に努めています。</p> <p>引き続き、町民の皆さんと協働でごみの分別、減量化に取り組んでまいります。</p>

平成29年度 第2回 議会報告会 の意見・提言・要望等

分野	内容・テーマ	報告会場	意見・提言・要望等	町からの回答
5	建設・都市計画 町道の管理	国府支所 保健センター	<p>生活道路の維持管理に予算を回してほしい。 マリア道の整備はどのくらい進んでいるのか。 星槎学園のバスが農免道路を迂回し、道路が傷んでいる。皆が使えるようにマリア道を早く整備してほしい。</p>	<p>マリア道は、国府本郷西小磯1号線整備事業として、道路用地のご協力をいただいた箇所から、順次工事を行ってまいりました。 平成29年度は、運動公園の南側から星槎湘南大磯キャンパスに向かう、新しいルート部分の工事を実施しています。 平成30年度は、運動公園南側から、星槎湘南大磯キャンパス入口まで、全体的に道路の形を形成する工事を行い、通行ができるようにし、舗装などを含めて、平成31年度の完成を目指して事業を進めてまいります。</p>
6	行財政 会議公開	保健センター	<p>会議の傍聴ルールが町民参加の視点にたっていない。資料も国会なら事前にホームページで入手できる。傍聴も10人が限度では非公開に等しい。透明性のなさを感じる。傍聴人数や資料配布への対応を求める。</p>	<p>会議の傍聴は、「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、可能な限り傍聴席を確保するよう努めています。傍聴希望者数が傍聴定員を超える場合は、会議の運営を妨げない範囲で対応に努めますが、会場の広さ等の都合から十分な傍聴席を確保できないこともありますことをご理解ください。 また、会議資料は会議録とともに、町役場の情報コーナーにて閲覧に供しています。会議が終了してから速やかに閲覧が可能となるよう、資料公開の方法について対処してまいります。</p>
7	行財政 町民からの意見聴取	保健センター	<p>給食問題、みなとオアシス、駅前整備、明治150年関連施策などについて、大磯町自治基本条例に基づき、町民の意見聴取を行うべき。十分な話し合いのもと、一部の人の意見だけでなく、反対意見も生かしてほしい。</p>	<p>大磯町自治基本条例を適切に運用するため、「条例に関する基本方針」を定めています。基本方針では、議会で決定された事項を町民全体で共有及び尊重することを前提とした上で、町民の意見聴取（町民参画）を求める場合には、事業ごとに目的、時期、手順を提示して実施することとしています。各事業の実施においては、この基本方針に沿って実施してまいります。</p>
8	行財政 明治150年関連施策構想	国府支所 保健センター	<p>町民に対しての情報が無い。固定資産税が減額する問題もある。整備費用も検討が必要である。町民の知恵を出し合うことが重要ではないか。町民の意見をよく聞いて、汲み取ってほしい。 また、町民が使えるようなギャラリーや集会場としての利用を考えてほしい。</p>	<p>明治150年を記念する関連施策の一環として、滄浪閣を中心とした建物群及び緑地を対象区域として「明治記念大磯邸園（仮称）」を整備することが決定されました。 この邸園は国が整備し、平成30年度から着手する予定と聞いています。町では邸園が整備されることで、経済効果や雇用機会の創出、また、全国的な宣伝効果などが期待できると考えています。 具体的な整備内容は示されていませんが、町のメリット、デメリットなどを勘案し、いただいたご意見も踏まえ、町の考えなどを今後の国や県との協議の中で示してまいります。</p>
9	建設・都市計画 公共交通	国府支所	<p>黒岩は交通の便が悪く、買い物に不便である。使いやすい公共交通を考えてほしい。 西小磯東区の乗合タクシーは、ルートなど、どのように決まったのか。</p>	<p>公共交通の確保のため、路線バス撤退の申し出のあった黒岩地区の一部を含む富士見地区を走る路線バスについて、補助金を交付することにより、バス路線の維持に努めています。今後も、地域住民の方との意見交換会等を含め、住民参加のもと、地域の特性や要望の把握に努め、より利用しやすいものとなるよう検討を進めてまいります。 西小磯東区の乗合タクシーについては、平成24年度に「西小磯東区交通推進の会」が設置され、地域住民が主体となってアンケート調査や検討を行い、ルートや運行時間等を決定しています。</p>